

第6回定例理事会

3月20日
本部会議室
出席理事・監事27人

「遊技産業活性化委員会」発足へ 6団体とWGリーダーで構成

業界14団体で構成するパチンコ・パチスロ産業21世紀会に、遊技産業活性化委員会及びワーキンググループ(WG)の新設が報告された。遊技産業活性化プロジェクトは昨年1月の日遊協理事会で設置が承認され、正副会長中心のチームが開始した。6月に日遊協、全日遊連、日工組の3団体が同プロジェクトの中の「ファン層の拡大」

に沿って現行遊技機検討会を組織、新しい遊べる遊技機の開発・検討を続けている。今年1月28日の21世紀会賀詞交歓会で「気軽に遊んでもらおう!パチンコ・パチスロ」をスローガンとした「宣言2014」が発表され、同プロジェクトは21世紀会の規模に拡大した。今回の遊技産業活性化委員会等の新設は、この一連の動きに沿ったもの。

委員長は全日遊連

計画によると、遊技産業活性化委員会は全日遊連、日遊協、日工組、日電協、全商協、回胴遊商の6団体とWGリーダーとで構成し、委員長は全日遊連から出す。委員会は21世紀会の方針(「宣言2014」)に基づく年次計画(事業概要)と年間予算を審議し、21世紀会が承認する。

遊技機とPRのWG

委員会の下に儲けられるWGは委員会の構成団体及びその他の団体から推薦された実務関係者10人

程度で構成し、事業の具体的な内容を詰め、実行する。当面は「遊べる遊技機検討」「遊技産業PR」の2つのWG(いずれも仮称)が設置される。このうち「遊べる遊技機検討」WGは、日遊協・全日遊連・日工組の現行遊技機検討会を改変し、ファンの多様なニーズに応えられる遊技機の検討と現行遊技機の問題点の改善等が協議事項となる。

「遊技産業PR」WGの協議事項は、新たなファンの創出とすそ野を広げるキャンペーン、誤った情報によるネガティブイメージの払拭、業界の正しい姿のPRの検討等となっている。具体的には、初心者、休止者が気軽に遊べるホール環境の構築、遊べる遊技機等のPRやホールへの誘引策の検討、遊技産業実態調査等が挙げられている。

委員会等の設置について、ホール関係5団体は3月17日の代表者会議で承認済み。4月中旬に21世紀会の全団体から承認を得、実現し

重点推進事項を承認

平成26年度重点推進事項(別掲)が提案され承認された。重点推進事項は6項目で、前年度と変わらない。細目でいくつか変更があり、カジノ問題等法律関係の取組に迫られそうなことから、「社会情勢の変化に対応した法令等の研究・改善の取組の強化」(1-3)を入れた。一方で、昨年度の推進事項にあった「消費税問題についての研究と取組の強化」「貯玉再プレシステムの活用と店外オンラインの研究」「一般社団法人への適切な移行」が消えた。

事業別新予算を説明

一般社団法人への移行で、新年度からは現存の正味財産の公益目的と認められた部分を消化していく形になることから、収支予算は従来の「勘定科目別」とは別に「事業別」の形式が示された。「事業別」の中で事業活動収支は、①公益目的の支出計画事業 ②その他の事業(共益事業) ③法人会計(管理費)の3項目に区分された。

公益目的の支出計画の継続1・健全化適正化事業(支出額約5966万円)は広報誌無償配布、PSI



遊技産業活性化委員会及びワーキンググループ(WG)の新設等を承認した第6回定例理事会

平成26年度重点推進事項

～ 行動する日遊協 日遊協憲章・行動指針の実践 ～

1 パチンコ・パチスロ新時代にふさわしい ビジネスモデルの創造等、安心安全な遊技環境の整備

- (1)遊技産業活性化プロジェクトの推進
- (2)不正に対する断固たる対応
 - ア 一般社団法人遊技産業健全化推進機構の活動への積極的な協力
 - イ 遊技産業不正対策情報機構(PSIO)の活用と、地域セキュリティネットとの連携強化
- (3)社会情勢の変化に対応した法令等の研究・改善の取組の強化
- (4)一般社団法人貯玉補償基金の整備充実
- (5)依存症(のめり込み)対策の活動の推進

2 人づくり活動の推進

- (1)店長等講習、マネジメントカレッジ等体系的な人材育成システムの充実強化
- (2)遊技機取扱主任者の講習・試験制度の充実強化

3 環境問題への積極的対応

- (1)省エネに関する意識の改革とエコホール等の対策の推進
- (2)遊技機リサイクルの積極的推進
- (3)「みどりのきずな」「共生の森」計画の推進

4 社会貢献活動の推進と社会的評価を得るための効果的な広報活動の推進

- (1)遊技産業に対する理解と社会的評価を高めるための広報・各種イベント活動の推進
- (2)日遊協ボランティア派遣隊の充実強化と各種ボランティア活動の推進
- (3)店舗施設の地域貢献の推進

5 組織体制の整備と活性化

- (1)会員増強方策の積極的推進
- (2)委員会・プロジェクトチーム活動の整備
- (3)本部・支部間、支部相互間の情報交流の推進

6 遊技産業の各団体間の連携強化

- (1)団体間の各レベルの会議の充実強化

〇とセキユリテイー対策委員会の運営、リカバリーサポート・ネットワーク支援等。継続2・社会貢献・環境対策事業(同1957万円)は社会貢献・環境対策委員会(里山造成事業)、みどりのきずな・ボランティア(東日本大震災被災地での復興支援、海岸防災林の植林等)等。さらに、さわやか福祉財団への寄付となっている。公益目的に該当しないその他の事業には、研修等事業(遊技機取扱主任者講習・試験、店長・管理職能力開発講習)、広報誌刊行事業等がある。

なお、正式な収支予算案は、決

算の数字が固まる5月の新年度第1回定例理事会に提出される。

新規入会を申請した正会員5社(ホール)、賛助会員2社の入会を承認した。これで3月20日現在、正会員337社(ホール112、機械69、販売109、景品10、その他37)、賛助会員75社、計412社と団体加盟1(同友会)となった。(21ページに新規入会会員)

金沢日工組理事長が要請

「同意含めて理解を」

ECCO遊技機で理事会へ

日工組の金沢全求理事長が3月20

日、開発中のECCO遊技機の現状説明等で日遊協を訪れた。同理事長は「ECCO遊技機について各ホール団体を個別に回って説明し、質問に答えてきた。ECCO遊技機自体についてはいい感触を得たと思っているが、システムについては費用等でまだ納得されていない意見が多い状況だ」と述べ、ECCO遊技機への同意を含めた理解を日遊協に求めた。

庄司孝輝会長は「日遊協としては選択肢の一つとしていいことだと判断している。ただ、これまでよくわからないことが多かった。日遊協としても全日遊連等とさら

に協議し、問題点を明確化して詰める形で協力していきたい」と答えた。

同理事長の訪問は日遊協第6回定例理事会の直前に行われ、庄司会長以下役員27人が同理事長の説明を聞いた。日工組からは筒井公久(日遊協副会長)、榎本善紀、井上孝司の3副理事長が同行した。

日遊協政策検討連絡会

各委員会の事業審議

政策検討連絡会が3月20日、第5回定例理事会に先立って本部会議室で開かれ、4専門委員会についての2014年度事業計画と予算審議を行った。会長、副会長、専門委員会の担当理事と委員長、支部長が出席した。

おもな事業計画は、広報調査委員会がファンアンケート調査、遊技産業実態調査など5件、人材育成委員会が第8回遊技産業マネジメント・カレッジ、人材育成フォーラムなど4件、社会貢献・環境対策委員会が共生の森植林、禁煙・分煙環境に関する研究など4件、遊技機委員会がパチンコ&パチスロフェスタ、遊技機アワードなど4件となっている。



日遊協「一般社団法人」に移行

横断的組織としてさらに発展

日本遊技関連事業協会（日遊協）は、4月1日をもって「社団法人（特例民法法人）」から「一般社団法人」に移行した。

3月19日付で、

内閣総理大臣から認可書が交付された。理事は現状のまま登記され、6月5日の定時社員総会で改選後、改めて新メンバーが登記される。監事はこれまで登記されていなかったが、今回新たに登記された。一般社団法人では代表理事の登記が必要となり、庄司孝輝会長が代

表理事として新たに登記された。公的支出など明記

移行後の公益目的支出として、ボランティア活動、青少年育成に対する環境整備などが定款に明記された。公益目的事業ではないその他の事業としては、研修等事業（遊技機取扱主任者講習・試験、店長・管理職能力開発講習等）、広報誌業務事業が挙げられている。日遊協は、平成元年7月にパチ

ンコ・パチスロ産業界の公益法人として発足した。発足以来の旗印は、業界の「健全化」「近代化」「適正化」そして「社会的地位の向上」であり、一般社団法人となった今後もこの旗印は引き継がれる。また、業界横断的組織として業界相互の連携を図り、行政当局と協議し、新時代に相応しいパチンコ・パチスロ産業界の発展のため、一層の活動を推進していく。

喫煙環境規制の状況について

改正安衛法案でJITが解説

社会貢献・環境対策委員会の2014年度事業の1つに、禁煙・分煙環境に関する研究がある。パチンコユーザーの6割が喫煙者といわれる業界にとって、禁煙・分煙問題は依然重要課題だ。3月24日の同委員会では、日本たばこ産

業（株）たばこ事業本部涉外グループ社会環境推進部課長、畠山信幸氏を招き、喫煙環境規制の状

況について国会や地方自治体での最近の動向を聞いた。受動喫煙防止対策改正法案が成立へ

畠山氏は労働安全衛生法改正の動きについて、「民主党政権時代に職場の受動喫煙防止対策として改正法案が国会に提出され、審議が行われないうまま2012年11月の衆議院解散に伴って廃案となった。新たな改正法案内容は昨年より厚労省の安全衛生分科会で検討されてきた。分科会で諮問、答申のス

業（株）たばこ事業本部涉外グループ社会環境推進部課長、畠山信幸氏を招き、喫煙環境規制の状

況について国会や地方自治体での最近の動向を聞いた。受動喫煙防止対策改正法案が成立へ

畠山氏は、改正法案での受動喫煙対策に関する概要として、①事業者及び事業場の実情に応じ適切な措置を講ずることを事業者の努力義務とする ②国は受動喫煙のた

めの設備設置の促進等の必要な援助に努める——の2点を挙げた。「3年前の、全面禁煙、空間分煙の義務化等の内容であった法案に比べれば緩やかになったという印

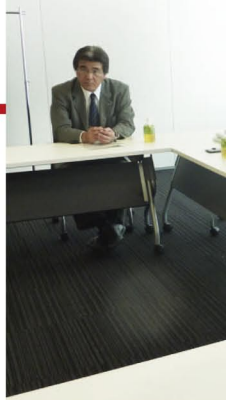
事業者の努力義務 国は必要な援助へ

畠山氏は、改正法案での受動喫煙対策に関する概要として、①事業者及び事業場の実情に応じ適切な措置を講ずることを事業者の努力義務とする ②国は受動喫煙のた

めの設備設置の促進等の必要な援助に努める——の2点を挙げた。「3年前の、全面禁煙、空間分煙の義務化等の内容であった法案に比べれば緩やかになったという印

神奈川県の動きもパチンコへの圧力

また同氏は、地方自治体の動向



「公共的施設に
10年4月に
おける受動喫煙防止条例」が施行
された神奈川県を取り上げ、「条例
には施行から3年を経過すること
に見直し検討とあり、去年見直し
の議論がされたが、現状維持」で
決着した。ただその中で、『特例第
2種(努力義務)の対象施設をもつ
と減らすべき』という議論も一部
あり、特例第2種に入っているパ
チンコ業へも言及があった。『風
営法関係では、簡単に分煙できそ
うなレベルなのがパチンコ店だ。
比較的手をつけやすい』など特例
第2種から外したい意向も感じら
れる意見が出ていた。今後も3年
後へ向け、安心せず注視は必要」

全国的にも進行中

その他の地方のおもな動きは次
の通り。(日本たばこ産業(株)調べ)

▽兵庫県は12年3月に受動喫煙防
止条例を可決、同年4月、官公庁・
学校・病院への適用を開始した。
今年4月に民間施設への適用開始。

▽山形県では昨年春、受動喫煙防
止条例制定を視野に入れた検討会
が開始。今年2月、条例制定を後
押しする内容の報告書が出され、
4月以降また改めて検討がなされ
る見込み。

▽千葉県は昨年12月に終了し、事業者の自
助努力を前提とした現実的対応を
検討している。

然エネルギーに関する研究 ③禁
煙・分煙環境に関する研究 ④認知
症予防の研究——の4件。

このうち、みどりのきずな再生
プロジェクトは東日本大震災で被
災した仙台北空港東側の仙台湾沿岸
地区海岸防災林(宮城県名取市台
林国有林)再生事業で、5月16日
(金)に実施され、クロマツ777
本が植林される。

▽大阪府は昨年1月、条例概要案
でパブリックコメントを実施し、
2月議会に条例案を上程したが撤
回。ガイドラインを策定中。今年
の春にも施行が見込まれる。

▽広島県は昨年10月、県主導で「広
島県たばこ対策懇話会」が稼働し
た。懇話会の意見を踏
まえて、受動喫煙対策
を盛り込んだがん対策
推進条例案を作成、議
会に上程の見込み。

▽京都市は昨年5月、
京都市・京都市と、飲
食店等が加盟する事業
者団体が協定を締結し、
店頭表示ステッカーに
よる自主的な受動喫煙
防止の取組で合意した。
▽静岡県では、がん計
画の中で受動喫煙防止
条例制定に言及した。

▽青森市は12年5月に「たばこの
健康被害防止対策骨子案」をまと
め、これを受けて今年1月、ガイ
ドラインが施行された。公共施設
は全面禁煙、その他の施設も全面
禁煙か完全分煙を推奨する内容と
なっている。

社会貢献・環境対策 委員会

3月24日
グローリーナス力(株)会議室
出席委員等14人

5月16日に777本

「仙台共生の森」第2回植林

第6回定例理事会で承認された
新年度の事業計画が改めて報告さ
れた。事業は、①みどりのきずな
再生プロジェクト、共生の森②自

4月の行事予定	4日(金)	10:00~16:50	取扱主任者講習・試験(更新)(オーラム)
	9日(水)	13:30~15:00	貯玉補償基金理事会
	10日(木)	10:00~17:10	取扱主任者講習・試験(新規)(ベルサール神田)
		15:00~20:15	九州支部総会(グランドハイアット福岡)
	11日(金)	10:00~16:50	取扱主任者講習・試験(更新)(ベルサール神田)
		15:30~17:30	社会貢献・環境対策委員会
	15日(火)	15:00~17:00	遊技機委員会
	16日(水)	13:30~14:30	不正対策室会議
		15:00~16:00	インターネット広告協議会
		16:00~17:00	東京都・関東支部役員会
	17日(木)	10:00~16:50	取扱主任者講習・試験(更新)(メルパルク仙台)
		14:00~19:00	連絡会議(グランドアーク半蔵門)
		15:30~17:30	人材育成委員会
	18日(金)	14:00~19:00	近畿支部総会(KKRホテル大阪)
	21日(月)	13:30~15:00	遊技機リサイクル推進委員会(日工組)
		15:00~16:00	中古機流通協議会(全商協)
	23日(水)	15:30~17:30	広報調査委員会
	25日(金)	10:00~17:00	パチンコ&パチスロフェスタ2014(業界向け)(ベルサール秋葉原)
	26日(土)	10:00~16:30	パチンコ&パチスロフェスタ2014(一般向け)(ベルサール秋葉原)
		10:00~18:00	パチンコ&パチスロフェスタ2014サテライトブース(ニコニコ超会議3・幕張メッセ)
		10:00~17:00	パチンコ&パチスロフェスタ2014サテライトブース(ニコニコ超会議3・幕張メッセ)

APRIL